

『24 うばわれた自由』

主 題 名：自分の行動に責任をもって

内容項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任

教科書p.116～119

学習活動、主な発問、予想される児童の反応例	指導上の留意点、ICT機能の活用例
<p>自由について考える。</p> <p>○自由とはなんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に何も言われず、なんでもできる。 ・ルールがない。 ・好きなことをなんでもやってよい。 ・好きなように楽しく遊ぶ。 ・何をしても、何もしなくてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> * 自由について、今どのように思うか考えられるようにする。 * 児童の反応を見て、考え方に浅さが見られると判断した場合には、「それだけでよいですか？」などと補助発問を行うとよい。
<p>教材を読んで、話し合う。</p> <p>考えよう</p> <p>①ガリューとジェラル王子の「自由」についての考え方は、どのようなところが違うのでしょうか。</p> <p>【ガリューの考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でもあっても、たとえ王子でも、国の「きまり」はみんなが勝手なことをしないようにするために守らなければならない。 ・自分だけに都合のよいようにすることは、わがまま勝手で、ほかの人に迷惑がかかる。 ・周りのことを考え、王子であっても自分の心をおさえるべきだ。 ・まずは、きまりを守ること。それができないなら、捕らえるのが自分の仕事だ。 <p>【ジェラル王子の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王子だから「きまり」は関係ない。自由だ。 ・誰もががしたいことをしたいようにできることが自由だ。 ・みんなが自由を望んでいる。 ・「きまり」「きまり」と言っていたら、世の中がきゅうくつになってたまらない。 <p>②ジェラル王子には、どのような考え方が必要だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王子といえども、きまりを守るといふ考え。 ・自分勝手にふるまわないという考え。 ・自分のふるまいには責任をもつという考え。 	<ul style="list-style-type: none"> * ICT活用 付箋機能：ガリューとジェラル王子の「自由」についての考え方の違いについて、付箋機能を使いグループで話し合う。それぞれの考えを同時に付箋へ打ち込んでいく。そうすることで、ガリューとジェラルの考えを比較できるとともに、他者の考えにもふれ、「自由」についての考えを深められるようにする。グループでの活動を終えたら、話し合いの内容を全体で共有する。 * ジェラル王子の自分勝手なふるまいをガリューがいさめようとしていることに気づくことができるようにする。 * 自分勝手と本当の「自由」の違いについて考えることができるようにする。 * ガリューが言うジェラル王子のうばわれた「自由」とは何かを考えられるようにする。
<p>本時の学習を自分の生活に生かすようにする。</p> <p>深めよう</p> <p>③「自由」について学んだことを、自分のこれからの生活にどのように生かしたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人に迷惑をかけないようにする。 ・自分の責任を果たす。 ・自分で考え判断し、すすんで行動できるようにする。 ・まずは、きまりを守る。 	<ul style="list-style-type: none"> * ICT活用 付箋機能：今日学んだことを付箋に打ち込めるように、共有画面上に場所を作って置く。そこに、個々の学びを打ち込むことで、他者の多様な考えにふれることができる。そして、これからの生活にどのように生かすかという道徳的な実践につなげる。 * 作業約5分。

ICT機能の活用

付箋機能

【展開段階】

ガリューとジェラル王子の「自由」についての考え方の違いについて、付箋機能（ロイノート、Google Jamboard、Microsoft Whiteboard等）を使い、グループで話し合う。付箋機能を使うことで、リアルタイムで各自の考えを出し合うことができる。協働しながら互いの考えを確認することが可能である。

まず、それぞれの考えを付箋に打ち込む。その際、ガリューとジェラル王子の考えでそれぞれ付箋の色を変えておくと、視覚的に捉えやすくなる。付箋に打ち込み終わったら、グループで互いの考えを見ながら話し合う。付箋機能は、他グループのものも見ることが可能なため、それらを参考にしながら話し合うことも想定できる。そして、グループでの話し合い後は、話し合った内容を全体で共有するようにしたい。

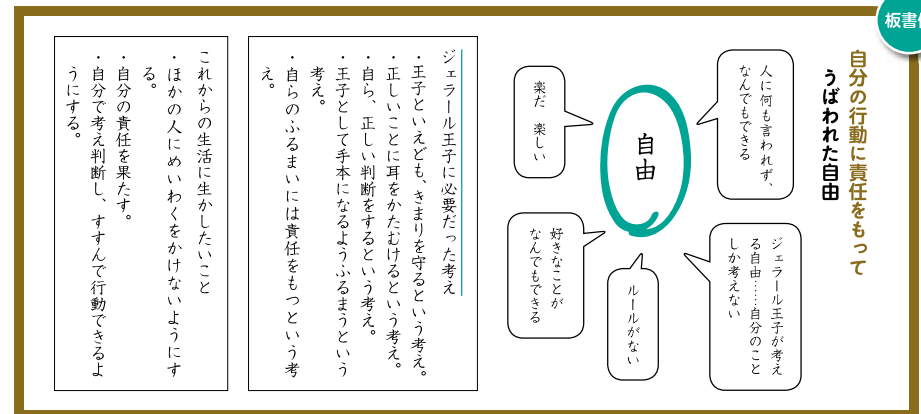
【終末段階】

付箋機能のメリットとして、打ち込んだ考えが残せるということがある。「本時の話し合いで考えたこと」と、画面上に残っている「ガリューとジェラル王子の考え」をもとに、改めて学習を振り返ることができる。そこで、終末段階で今日の学びを付箋に打ち込むことができるような場所をあらかじめ確保しておくようにする。終末段階での打ち込みによって、自分の学びをまとめるだけでなく、他者の学びも見ることが可能となり、多様な考えにふれることができる。それにより、「自由」とは何かに対する理解を深めることが期待できる。



この活用には、SARTRAS(サートラス)への申請が必要です。

板書例



児童の学習状況(活動)の評価

【評価の視点】

- ①他者の考えにふれ、「自由」と「自分勝手」の違いについて、多面的・多角的に考えることができているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述)
- ②「自由」には自律性や責任が伴っていることを理解し、自分との関わりで考えることができているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述)